

機能アップデートのお知らせ

キャッシュ・フロー計算書の精度向上について

2026年6月

いつもご利用いただきありがとうございます。

このたび、財務分析機能の「キャッシュ・フロー計算書」を改善いたしました。さまざまな形式の決算書に対応できるようになり、より正確な資金の流れを自動で計算できるようになりました。

1 今回の改善でできるようになったこと

決算書のフォーマットは、会社や税理士事務所によって項目の並び方や名称が少しずつ異なります。今回のアップデートにより、こうした違いがあってもキャッシュ・フロー計算書が正しく作成されるようになりました。

改善ポイント	具体的な内容
さまざまな科目名に対応	「現金・預金」「現金及び預金」など、同じ意味でも書き方が違う勘定科目を自動で正しく認識します。
合計欄がない決算書にも対応	「〇〇合計」といった集計欄が記載されていない明細だけの決算書でも、自動で合算して正しく計算します。
幅広い勘定科目を網羅	有価証券・短期貸付金・前受金（未成工事受入金）・各種引当金など、これまで集計に含まれなかった科目にも対応しました。
計算の正確性が向上	資金の増減が貸借対照表の現金残高と一致するよう、計算ロジックを見直しました。

2 計算結果の確認がしやすくなりました

画面上にキャッシュ・フロー計算書を表示した際、計算が正しく完了したかどうかをひと目で確認できるようになりました。

- 計算結果に問題がないかを自動でチェックし、必要に応じて画面にお知らせを表示します。
- 決算書に含まれていた金額のうち、当期純利益などが他の項目と食い違っている場合は、自動で正しい値に補正します。

- 計算書の末尾には、千円単位の決算書を扱った場合に生じるわずかな端数についての注記を表示します。

3 見慣れない勘定科目があるときのサポート機能

決算書の中に、計算にうまく組み込めなかった珍しい勘定科目があった場合、その科目を画面上でお知らせするようになりました。

お知らせされた科目については、画面のプルダウンメニューから「どの項目に含めるか」を選ぶだけで、その場でキャッシュ・フロー計算書が再計算されます。専門知識がなくても、表示された選択肢から選ぶだけで対応できます。

△ ご注意

この選択内容は、その場の計算にのみ反映されます。画面を閉じたり別の決算書を読み込んだりすると選択内容はリセットされますので、必要な場合はその都度ご選択ください。

4 Excel ダウンロードも改善されました

画面表示と同じ内容のキャッシュ・フロー計算書が、Excel ファイルにも出力されるようになりました。これまでの見やすいレイアウトはそのままに、今回追加された科目も Excel 上に反映されます。

今後とも、より使いやすいサービスを目指して改善を続けてまいります。ご不明な点やお気づきの点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

引き続きよろしくお願いいたします。